

多様な性のあり方について知ろう

問 市民協働課 (☎95-0002)

性の在り方には、体の性以外にもさまざまな要素があり、大きく分けて4つの要素から成り立っています。その組合せによってさまざまなセクシュアリティ（性の在り方）が形成されています。一人一人の顔や性格が違うように、性の在り方は多様です。

◆性の要素

- ▶体の性…生物学的なオス・メス
- ▶性的指向…恋愛感情や性的な関心・興味がどの性別に向いているか
- ▶性自認…自分の性別をどう認識しているか
- ▶性表現…言葉遣い・服装・振る舞いなど外部に対する表現

◆LGBTとは

性的マイノリティ（性的少数者）を表す言葉の1つです。

Lesbian レズビアン …女性の同性愛者（心の性が女性で恋愛対象も女性）

Gay ゲイ …男性の同性愛者（心の性が男性で恋愛対象も男性）

Bisexual バイセクシュアル …両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）

Transgender トランスジェンダー …心の性と体の性の不一致（体の性が男性で心の性は女性というように心の性が一致していないため体の性に違和感を持つ人）



◆関連用語

- ▶カミングアウト…自らのセクシュアリティを本人の意思で打ち明けること
 - ▶アウティング…他人のセクシュアリティを本人の了承なく第三者に伝える（暴露する）こと
- 本人の人権・人格・尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害です。**

7月1日から刈谷市パートナーシップ宣誓制度を開始します

ID 1012701

人生のパートナーであることを約束した双方または一方が性的少数者である2人が宣誓書を市に提出し、市が対象者の要件を確認の上、受理し、1組につき1部刈谷市パートナーシップ宣誓書受領証を交付する制度です。

※この制度は、性的少数者などの人々に対する理解が広がり、誰もが暮らしやすい環境作りにつながることを目的としています。法律上の婚姻制度とは異なり、宣誓しても法律上の効力は生じず、戸籍などが変わるものではありません。

宣誓予約 6月1日(休)から☎ (kyodo@city.kariya.lg.jp) または電話で市民協働課へ。

がん患者のウィッグ・乳房補整具購入費を助成します

問 保健センター (☎23-8877) ID 1010739

助成額 補整具を購入した費用の2分の1の額(1円未満切り捨て)

※補整具の区分ごとに上限2万円

※乳房補整具は、外見の変化の起因となるがんの治療を受けた日以降に購入したものに限る。

補整具区分	対象補整具
ウィッグ	かつら、頭皮保護用のネット(かつらと同時に申請する場合に限る)、毛付き帽子(頭皮が接する部分全てに毛を接着したものに限る)
乳房補整具	補整パッド、補整下着(補整パッドと下着が一体となったもの)、人工乳房(肌に直接接着させるものに限る)およびこれらを固定する下着(補整パッドまたは人工乳房と同時に申請する場合に限る)

対 頭髮の脱毛や乳房の変形の起因となるがんの治療を受けた(受けている)人のうち、申請日時点で市内に住民登録がある人

申 対象補整具を購入した日の翌日から1年以内に、申請書(保健センターで配布・市HPでダウンロード可)、外見の変化の起因となるがんの治療を受けたことを確認できる書類の写し、購入した対象補整具の領収書の原本を郵送または直接、保健センター(〒448-0858 若松町3-8-2)へ。

注意事項 ▶同じ区分の申請は一度しか行えないため、同一区分の補整具を複数購入した場合はまとめて申請してください。

▶過去に県内の他市町村で助成を受けた補整具区分と同じ区分の補整具は助成対象外

▶県外の市区町村などで助成を受けた補整具は助成対象外(新たに購入したものは助成対象)